

仕様書

1. 件名

地熱開発推進フォーラム企画運営業務

2. 目的

2020年10月政府は、「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、また2021年4月には、2030年度の新たな温室効果ガス削減目標として、2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けるとの新たな方針も示されたところ。

この政策実行に再生可能エネルギーを最大限導入することは必要不可欠であり、中でも持続可能でCO₂排出が少ない地熱資源開発は極めて重要である。我が国の地熱資源賦存量は世界第3位であり、恵まれた天然資源を有効に活用する地熱資源開発の加速化が求められている。

本フォーラムにて地熱資源開発の重要性を改めて確認し、全国に向けて東京から大規模な情報発信を行い、国民各層及びビジネスパーソンの地熱への関心を喚起することで、地熱資源開発の機運を全国規模で盛り上げたい。

3. 業務内容

(1) フォーラムの企画・運営

- ① 開催時期：令和3年度中（2月の中下旬を想定）
- ② 開催場所：東京都港区、千代田区、中央区内等にて確保のこと。
※会場費は委託費に含むものとする。
- ③ 想定登壇者層：超党派地熱発電普及推進議員連盟所属議員（地熱議連）、中央官庁、地方自治体、日本地熱協会、地熱開発関係企業、地熱促進関係者、温泉関係事業者、自然保護関係者、有識者、著名人等。
- ④ 対象参加者：地熱資源開発の機運を盛り上げることに効果的な層をターゲットとすること（少なくとも、国民各層及びビジネスパーソンは、対象参加者として想定すること）。
- ⑤ 開催方法：会場にて200人～300人程度収容、合わせてWEB LIVE配信による開催とすること。LIVE配信は、YouTubeにて行うこと。画質はLIVE配信が停止せず、登壇者の表情が鮮明に映る程度とすること。
- ⑥ 開催時間：2～3時間程度を想定すること。
- ⑦ プログラム：以下の進行例（必須項目以外は順不同・任意）を基に地熱資源開発の機運を盛り上げるようなプログラムを工夫して提案すること。

【進行例】（*：必須項目）

- ・主催者挨拶（JOGMEC 理事長）*
- ・地熱議連挨拶*
- ・関係大臣挨拶（経済産業大臣、環境大臣を想定）*

- ・講演（適任者を選定のこと）＊
 - ・地熱開発事業者によるプレゼンテーション
 - ・地熱活用事例紹介（地熱モデル地区から）
 - ・トークショー（有識者とタレント等適任者を選定のこと）
 - ・閉会挨拶＊
 - ・壇上での記念撮影＊
- ⑧ 講演者：原則開催会場での出席とし、必要に応じて、謝金、居住地から開催地までの往復旅費・宿泊費等を負担し、宿泊手配を行うこと。
- ⑨ 司会者：著名人を採用し、必要に応じて、謝金、居住地から開催地までの往復旅費・宿泊費等を負担し、宿泊手配を行うこと。
- ⑩ フォーラム開催の準備：開催に向けて、主たる参加者等関係者との事前打合せを含めた連絡調整、会場の通信環境の確認（WEB LIVE 配信環境）を行うなど、準備を滞りなく行うこと。前日または当日にリハーサルを行うこと。また、講演で使用する資料等の作成補助、配布資料、会場看板、運営機材等の準備を行うこと。
- ⑪ 参加者の整理：会場の参加者、視聴参加者の事前整理を行い、開催当日の来場者の確認、視聴参加者数のリアルタイムでの参加者数の確認を行うこと。
- ⑫ 障害を有する方への配慮：障害を有する方の参加について会場設営・運営面から極力配慮するとともに、参加の申し出があった場合には具体的な状況を良く伺い必要かつ合理的な対応をすること。
- ⑬ 感染症対策：本フォーラムの開催が新型コロナウイルスなど感染症の拡大につながることの無いよう、十分な対策を講じること。
- (2) フォーラム開催に係る広報業務
- フォーラム開催及びその内容について全国に効果的に広報し、国民各層及びビジネスパーソンの地熱への関心を喚起することで、地熱資源開発の機運を盛り上げたい。また、事後の広報も行うことで、全国への地熱普及促進の波及効果を狙いたい。
- したがって、①マスメディア等を活用したフォーラム参加者募集（会場・視聴）を含む事前広報、②国民各層及びビジネスパーソンの地熱への関心喚起に係る広報、③成果発信広報を行うこと。
- ① マスメディア等を活用したフォーラム参加者募集（会場・視聴）を含む事前広報
- ・ 事前登録者及び当日の WEB 視聴者の獲得につながる適切なデジタル媒体等を活用した効果的な拡散方法により、事前の広告を行うこと。
 - ・ 事前広報、参加者受付、地熱に関するイベント、フォーラム開催結果紹介、事後広報等を行う WEB サイトを立ち上げ、フォーラムの広報や事務に活用すること。
※会場での参加者数、視聴参加者数を確保するため、参加者に金銭等の対価を支払うこと又は類似の行為をしないこと。
※広告掲載にあたっては、社会通念上不適切と考えられるサイトへの掲載を排除

するよう努め、掲載先サイトを定期的を確認すること。

② 国民各層及びビジネスパーソンへの地熱への関心喚起に係る広報

- ・ フォーラム開催の前後に、国民各層及びビジネスパーソンが参加できる地熱に関する体験型のイベントを開催し、地熱の関心を喚起すること（2週間程度）。
- ・ 開催場所は東京であり、東京での取り組みが主体となるものの、本事業による地熱の関心喚起を全国大に効果的に広げていく観点から、いくつかの地域との連携についても検討・企画すること。
- ・ 本広報については、複数の番組（3～5程度を想定）において露出するよう、メディアとの連携も行うこと。

③ 成果発信広報

- ・ フォーラムの実施内容及び成果を小冊子として取りまとめ、500部をカラー印刷すること。また、WEB掲載できるよう電子データとしても納品すること。
機構のニュースリリースの作成補助、マスメディア等の取材・報道等を通じてイベントのプレゼンスを向上させること。

(3) フォーラムの映像撮影と編集・制作

フォーラムの動画及び静止画を撮影し、記録映像を編集・制作したい。なお、作成した記録映像等は、フォーラム後も機構の広報活動に活用する。

① フォーラム映像記録(フォーラム全体と同等の尺)

- ・ 撮影した映像について、フォーラム全体進行の様子が確認できるよう適切にキャプションを入れてカメラ映像をつなぎ合わせること。

② フォーラムダイジェスト映像

- ・ フォーラム全体の要点を10分程度のダイジェスト版として機構のWEB等に掲載できるよう、適切なキャプション及びBGM等を組み込んでダイジェスト映像として編集・制作すること。

③ 記録写真

- ・ 静止画撮影した画像を記録写真として取りまとめること。なお、代表的な写真は、ニュースリリース等に活用できるよう、遅滞なくピックアップして機構に提出すること。

(4) 報告書の作成

上述の(1)及び(2)までの実施内容について、報告書としてとりまとめるとともに、報告書と映像・写真等を取めた電子媒体一式を作成すること。なお、報告書には、フォーラムまでの準備に関する実績や運営状況の詳細についても記載すること。

4. 業務実施にあたっての注意事項

受注者は、上記3.業務内容に示したフォーラム全体の開催企画、広報方策等の具体策について、効果的な地熱広報とするため、その詳細について提案すること。同じく、感染症への対応策についてもその詳細について提案すること。また、実現可能な実施計画を立て提案すること。

ただし、実施にあたっては機構と十分協議を行った上、その内容を決定することとする。

5. 契約期間

契約締結～令和4年3月11日まで

6. 納品物・納品期限・納品場所等

納品物：報告書1部及びその電子媒体一式、記録データ一式

納品期限：令和4年2月28日

納品場所：独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 地熱事業部

7. 留意事項

納品物及び契約期間中に対外的に公表する配布物、映像等に、受注者に起因する重大な誤りがあった場合、受注者において回収、修正、再制作等の必要な措置を講ずること。

以 上